

- ・学校の実態や位置づけにおいてとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・リーダーシップ論はとてもためになった。管理職によって学校（職員室）の雰囲気はがらりと変わるので、よい校長に当たりたいと思うがそうはいかない。校長を育てていくという考え方はおもしろく、協力することでできるかもしれないと思った。ありがとうございました。
- ・元兼先生にはマネジメントの大切さを教えていただきました。現場で、役立てたいと思っています。
- ・元兼先生の話から「上からの教育改革反対！！」と私たちは良く口にしますが、教育改革をきちんと勉強することも大切なことだし、私たち自身が背景も含めて捉え、とりくむことが必要だと思いました。
- ・「マネジメント」という言葉が近頃良く聞かれ、てっきり行政側の一方的な理想を“また”押しつけられたと感じていましたが、違う視点で話があったので、たくさんのヒントが得られました。校長を動かすつもりでやっっていこうと思います。
- ・マネジメントといふとなんか自分から縁遠いものと思ってましたが、なるほどと思い関係がわかった気がしています。保護者が悪い何が悪いといっても始まらないなと思います。
- ・今の校長には「楯」的な役割や些細なことに声かけをしてくれるが、ビジョンは聞いたことがないと思った。
- ・学校は地域に支援されないと生き残れないというところにどきっとしました。学校は変わろうとしていない、私も変わろうとしていないのだろうかと考えさせられました。今の職場は保護者からのクレームがとても多くて参っています。地域に支えられた学校作りって難しいなと思いました。
- ・元兼先生の話はとてもおもしろかったです。学校のおかしなところ、これからどうなっていくのか考えさせられました。「まじめなことを気楽に話せる」そんな職場にしていけないといけなかったと思いました。「夕日に向かって走ろう」的なビジョンはダメ、子どもと語り地域・行政・学校がタッグを組んでいけないういけないうことを感じました。本日はありがとうございました。
- ・学校評議員会について「現場の校長は自分のやっていることばかりを（自分はこんなに教師にさせているんだ）訴えている、そういう校長がずいぶん多いように思う。今日の話を校長たちにもしっかりしてほしい。
- ・元兼先生のお話はとてもわかりやすく、特に「マネジメント・管理職とは」の話打破、その通りだ！と思うことばかりでした。管理職にバンバンこの話をしてください。
- ・元兼さんの「今、学校はどこに・・・」では、学校の閉鎖性に気付くことが多かったです。リーダーシップを発揮できる管理職とともに子どもを主体とした学校にしていきたいと思いました。
- ・管理職の仕事は職員のモチベーションを上げることという言葉が印象にのこった。
- ・「学校改革」についてあらためて考えました。